

# 結核予防接種(BCG)のお知らせ



この通知は、**生後2か月になるお子さん**の保護者の方にお送りしています。

予防接種は、感染症からお子さんを守るために非常に効果が高い手段です。このお知らせと、小冊子『予防接種と子どもの健康』『BCG ワクチンは結核予防ワクチンです』を読み、必要性をよく理解した上で、お子さんの体調が良い時に予防接種を受けましょう。結核予防接種(BCG)は、同封いたしました『八王子市個別予防接種実施医療機関一覧表』のうち「BCG」に○がある医療機関で接種することができます。接種の際は、必ず母子健康手帳を持参しましょう。

**八王子市に住民登録がない状態で接種を受けると、全額自己負担となります。なお、転出届の提出日ではなく、転出日から住民登録がなくなりますのでご注意ください。**

## 【予防する病気の特徴】

結核菌の空気感染、飛沫感染、接触感染により感染します。結核菌は主に肺の内部で増えるため、咳、痰、発熱、呼吸困難等、風邪のような症状があらわれることが多いですが、肺以外の臓器に広がることもあり、腎臓、リンパ節、骨、脳など身体のあらゆる部分に影響が及ぶことがあります。特に、小児では全身に及ぶ重篤な結核につながりやすいと言われています。

## 【ワクチンの効果】

BCG ワクチン接種により、結核の発病を、接種しなかった場合の約4分の1に抑えることができます。結核性髄膜炎や粟粒結核など重篤な結核に対しては、特に防ぐ効果が確認されています。

## 【対象期間・接種回数】

### ●対象期間

生後11か月(1歳の誕生日の前日)まで

**標準接種期間：5か月(5か月の誕生日の前日)～7か月(8か月の誕生日の前日)**

※3か月未満児の場合、先天性免疫不全症を有するかの判断が困難なため、免疫不全に気付かず接種をしてしまうと、全身播種性BCG感染症(重い副反応)を生じてしまう可能性があります。

### ●接種回数

1回

## 【当日の持ち物】

- ① 母子健康手帳
- ② 健康保険証(乳幼児医療証)

## 【接種することができる医療機関】

八王子市内の個別予防接種実施医療機関(BCGに○)へ電話で予約し、接種を受けてください。

また、**町田市、日野市、多摩市、稲城市が契約する医療機関においても接種ができます。**接種を受けようとする医療機関や医療機関がある市のホームページ等で確認し、予約をしてから接種を受けてください。

なお、特別な事情により、市外(町田市、日野市、多摩市、稲城市以外)の医療機関での接種を希望する場合は、事前の手続きが必要ですので保健所健康政策課へお問い合わせください。

## 【複数のワクチンの同時接種】

複数のワクチンの同時接種については医師が判断します。必要性や効果の説明を十分に受け、保護者の同意の上接種してください。

## 【保護者の同伴】

接種日当日は、保護者の同伴が原則です。予診票には保護者が責任を持って記入・署名してください。止むを得ず保護者以外（祖父母等の家族）が同伴する場合には、委任状が必要です。事前に保健所健康政策課へご連絡ください。

## 【予防接種の受け方】

### ●接種前

- ① 接種を受けようとする実施医療機関へ予約をしてください。  
※接種日当日に八王子市に住民登録がある方が対象です。
- ② 接種日前日は入浴し、当日は健康状態を確認し清潔な衣服を着用してください。なお、お子さんの両腕上腕部が隠れ、脱ぎ着させやすい服を着用させてください。
- ③ 予診票を接種医療機関で受け取り、保護者が責任を持って記入・署名してください。

### ●接種後

- ① 母子健康手帳に記入された接種の記録の確認をしてください。
- ② 接種後は、接種部位が乾燥するまでしばらく着衣ができません。また、接種後30分程度は医療機関でお子さんの様子を観察するか、すぐに医師と連絡がとれるようにしてください。
- ③ 接種当日は激しい運動を控えてください。入浴は差し支えありませんが、接種部位を強くこすらないでください。
- ④ 接種当日は接種部位に直射日光が当たらないよう、十分に配慮してください。

## 【接種することができないお子さん】

- ① 発熱している。※37.5℃以上は接種できません。
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかである。
- ③ 結核に感染したことがある。
- ④ 麻疹（はしか）、風疹、水痘（みずぼうそう）またはおたふくかぜにかかり、治ってから4週間以上が経過していない、もしくは突発性発疹、手足口病などのウイルス性疾患にかかり、治ってから1～2週間程度が経過していない。または、これらに感染している確率が高い。
- ⑤ 生ワクチンを接種してから中27日以上経過していない。※4週間後の同じ曜日から接種可能（ロタウイルス、麻疹風疹混合（単独も）、水痘（みずぼうそう）やおたふくかぜなど。）
- ⑥ 不活化ワクチンを接種してから中6日以上が経過していない。※1週間後の同じ曜日から接種可能（ヒブ、小児用肺炎球菌、日本脳炎、インフルエンザやB型肝炎など。）
- ⑦ 外傷などによるケロイドがある。
- ⑧ 以前に、接種液の成分でアナフィラキシー（注）を起こしたことがある。
- ⑨ 免疫機能に異常がある疾患や免疫抑制をきたす治療を受けている。
- ⑩ ①～⑨以外に、医師が適当でないと判断した。

## 【医師と相談が必要なお子さん】

- ① 心臓血管系、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患がある。
- ② 今までの予防接種で、2日以内に発熱や発疹・じんましんなどのアレルギーを疑う症状が出たことがある。
- ③ 今までにけいれんを起こしたことがある。
- ④ 今までに免疫不全の診断がされている場合や、近親者に先天性免疫不全症の方がいる。
- ⑤ BCGの接種液の成分により、アレルギーを起こす恐れがある。
- ⑥ 今までに結核患者との長期接触があった場合や結核に感染している疑いがある。
- ⑦ 輸血やガンマグロブリンの注射を受けて3か月以上が経過していない。  
※ガンマグロブリンの大量投与を受けた場合には6か月以上
- ⑧ ステロイド薬（副腎皮質ホルモン剤）を使用している。  
※事前に主治医に相談してください

## 【接種後の経過】

### ●通常の場合

- ① 接種直後～2週間程度  
針痕に血が滲むなどの反応が現れます。  
※接種の際に針を強く押し付けますので、この期間に接種部が針のとおり丸く腫れたり、血が滲んだり、赤くなったりすることがありますが、これは正常な経過と考えられます。まだ膿みは出ません。
- ② 4週間程度  
赤く腫れた針痕の先に膿みができ、反応が強くなってきます。
- ③ 6週間程度  
接種部分の腫れや反応が最も強くなります。
- ④ 2か月～3か月程度  
接種部分の腫れや反応が徐々に弱くなっていきます。
- ⑤ 4か月程度  
瘢痕を残して反応がおさまります。

### ●コッホ現象の場合

結核既感染者にBCGを接種すると、接種後、早ければ1～2日遅くとも10日以内に接種部位の赤み・腫れ及び膿みをきたし、通常2～4週間後に徐々に反応が弱くなり、針痕が残る程度に治癒する一連の反応が起こる。この反応を「コッホ現象」と呼んでいます。

- ① 接種後2日程度  
接種部位に、黄色い膿みを伴う盛り上がりが生じる。
- ② 接種後1週間程度  
接種部分の腫れや反応が徐々に弱くなっていきます。
- ③ 2～4か月程度  
針痕が残る程度に治癒します。

救急外来を受診するほどの緊急性はありませんが、変化に気付いたら、2～3日以内に必ず接種医療機関で受診してください。また、写真による経過の記録を残しておいてください。

## 【副反応】

接種後の副反応は、接種部位の強い反応により複数の針痕が融合したり、湿潤（じくじく）やびらん面を形成する接種局所の反応（強い局所反応があった例の一部はケロイドとなることがあります。）、接種した側のわきの下のリンパ節の腫れがあります。その他には、骨炎（骨膜炎、骨髄炎など）、皮膚結核様病変、全身播種性BCG感染症などの報告もあります。

非常にまれですが、アナフィラキシー（注）などの重大な副反応があるといわれています。

通常の反応のほか何らかの異常（けいれん・高熱など）が強く出た場合には、速やかに医師の診察を受け保健所健康政策課へ連絡してください。万が一、定期予防接種を受けて重篤な健康被害が発生し認定された場合には、予防接種法の規定に基づき、健康被害に対する給付が行われます。

（注）アナフィラキシー：通常接種後約30分以内に起こるひどいアレルギー反応のこと。顔が急にはれる、全身にひどいじんましんが出る、息が苦しい、嘔吐などの症状やショック状態になるような、激しい全身反応のこと。

八王子市保健所 健康政策課  
〒192-0083 旭町13番18号  
☎ 645-5102 / FAX 644-9100



